

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究に関するご質問等がありましたら、下記当院の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象となる方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ます。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合にはご連絡いただければ研究対象としません。

記

研究機関名	地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター
整理番号	25-497
研究の名称	胸部を含む重症外傷症例に対して open chest management（胸部開放管理）を施行した症例に関する治療成績の検討
総研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2026年 03月 31日
試料・情報の利用を開始する予定日	2025年6月18日
研究の対象	2015年1月から2024年12月までに当院で胸部を含む重症外傷として開胸手術を含む治療を受けられた方の中で、open chest management（胸部開放管理）という治療を施行した方
研究の目的	胸部を含む重症外傷症例に対して開胸手術を行う際には、通常胸部手術の様に閉胸するのではなく、特殊な医療器械を用いて open chest management（胸部開放管理）という管理を行っております。 この管理自体は、日本のみならず世界的にも胸部を含む重症外傷に対する治療として有効性が示されたものでありますが、実際にこのような管理を要する症例は少なく、その治療成績の実際や課題についての報告も少ないのが現状です。そこで、当院で胸部を含む重症外傷症例に対して open chest management（胸部開放管理）を施行した症例に関して、治療成績をまとめて有用性と今後の課題を明らかにすることを目的として本研究を計画しました。
研究の方法	対象患者に関する臨床情報・治療経過（年齢、性別や外傷の詳細や重症度、治療内容、治療期間、合併症の有無と詳細など）を電子カルテから集めて、詳細に検討します。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：電子カルテに記載のある診療記録、検査データ、病歴、治療歴、年齢、性別、外傷の程度や重症度、具体的な治療内容、治療期間、合併症の有無と詳細、最終転帰等

個人情報の取扱い	患者さんを直接特定できる氏名や住所等の個人情報は、利用する情報から削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
お問い合わせ先	<当院の連絡先> 地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター 所属：救命救急科 研究責任者：茅田 洋之 住所：大阪府堺市西区家原寺町1丁1番1号 TEL：072-272-1199(代表)

作成日：西暦 2025 年 05 月 05 日 (第1版)